



北ききょう



文責 尾中一彦

学年のしめくり時期 感染対策もひきしめて

2月の後半を迎えました。6年生の教室ではずいぶん前から卒業式までのカウントダウン(日めくり)が始まっています。残す授業日数は19日となりました。「コロナ感染症の影響で思い出が少なくなり…」との声もありますが、今月のはじめには、年末以来の大雪によって週明けから奉仕除雪活動を実施してくれました。職員の駐車ができず、朝から校舎周辺がパニックとなった日ですが、天のいたずらと言おうか、また一つ小学校生活の思い出をプレゼントしてくれました。

さて、2022年の始まりとともに感染者の増大が続いています。とくに子どもたちにも感染が広まり、高島市内でも多くの学校で学級閉鎖や臨時休校の措置をとらざるをえない事態が続いています。北小学校も例外ではありません。体調を崩したり、濃厚接触者となったりして検査を受けた児童・ご家族もたくさんいらっしゃいます。欠席のご連絡をいただく際に「家族に体調のすぐれない者がいますので、念のため…」など、発熱までには至らない家族の軽めの体調不良でも大事をとってくださるご家庭もあり、感染症への意識の強さを感じています。それでも感染を完全に防ぐことはできません。今後も陽性者が発現するおそれは十分にあります。(私も含めてです。)この感染症とうまく共存するしかないと言ってもいい状況です。

「もう、いいかげんにしてほしい」「いつまで続くの?」というのが本音です。1月の感染拡大の時には、この危機を乗り切るための「北小ルール」を決めました。2月末までの期間限定のルール。できれば期間延長ではなく、期間短縮して早めに解除をしたいと考えていましたが、いまだに解除できていないのが現状です。改めて北小ルールをお知らせします。

感染症対策 新旭北小学校ルール(期間:1/24~2/28)

① 学級を超えた活動を自粛する

同じ空間で学年合同の学習を実施しない。(テーマ別学習等は複数の部屋に分けて実施する)他の学級の教室には入らない。たてわり掃除を中断し、学級の割り当て場所を掃除する。

② 学習にかかる講師は最小限にとどめる。(2名以内とする)

例年、1年生の学習で「昔あそび」をおこなっていますが、地域の方々に教えていただくような機会は設けていません。

③ 行事の変更・中止

校外学習では、現地において不特定の方と接触する恐れのあることから実施をしていません。学習参観等、多数の保護者の方に来校いただく行事も取りやめています。

学年末の行事の実施方法

上記のルールが解除できる日を待ち望んでいますが、状況がよくなるには時間がかかりそうです。そのため、3,4月の行事についてはリスクを避けるため以下のようにさせていただきます。

①6年生を送る会について…5年生が企画して最高学年へのステップとする大切な行事となっています。しかし、一堂に集合することは避けます。当日は企画進行の5年生と主役となる6年生だけが体育館に滞在しお互い距離をとって集会をする予定です。1年生から4年生については学年の出番となる時間のみ体育館へ移動し、役割を終えればまた教室に戻るといった方法でおこないます。全校で集まらなくても6年生への感謝の思いを伝え、卒業をともに喜べる機会となればと思います。

②卒業証書授与式について…卒業生と保護者(2名まで)と5年生児童および一部の教職員のみのおこないます。ご来賓の参列もありません。参加される保護者の方は1週間前から検温などをして、健康観察票を受付で提示し、開式から閉式までマスクを外すことなく過ごしていただきます。(高熱や体調不良の方はご遠慮いただきます)出来る限り短時間で行き、座席は1.5メートル程度の距離をあけて配置します。在校生による見送りは実施しません。近くの人と距離を保てない記念撮影はご遠慮いただきます。

③入学式(令和4年度)について…卒業式と同様の形でおこないます。健康観察票は事前に配付をさせていただきます。終始マスクの着用を徹底します。(あくまでも現時点での予定です。)

新年度に向けて動き出しています

今年度もあとわずかとなるこの時期、来年度の学校運営に向けた話し合いを重ねています。思えばこの2年間は、コロナの影響によりこれまでと同じことができない期間でした。でもそれを「できなかった」ととらえるのではなく、「変わることができた」と感じる期間でもありました。当初は「変えざるを得なかった」感が強かったのですが、昨年のこの時期には「変化を楽しむ」という言葉を学校だよりも用いるほど、この事態を前向きにとらえて日々を送っていました。学校のスローガンにも「チャレンジ」を追加しました。子どもたちもいろんなことにチャレンジしようとしています。令和4年度も新たなチャレンジに取り組める年にしたいと考えています。(できれば感染症対策の制限が少ない形でのチャレンジを望んでいます。)

まず1つめの取組は、地域学校協働活動です。第10号(R3.12.22発行)でも述べていますが、子どもたちが自ら企画し、大人に向けて発信できる活動を通じてたくましく自立した大人へ向けた歩みを進めたいと考えます。地域の方にも授業に加わっていただきながら、バックアップをしていただきます。ただし、手助けをして道筋をつけていただくものではありません。あくまで主体は子どもたちで、困ったところは相談をもちかけてともに考えるといったスタンスでかかわっていただこうと思っています。3月に自治会役員や民生委員児童委員のみなさまに説明をさせていただく機会をもちます。どうかご協力をよろしくお願いいたします。

二つめの取組として、学力の向上があります。毎日の授業・学習活動の改善はもちろんのこと、家庭での学習習慣を身に付けることや、学習が定着するための体の状態も大事な要素ですから、「早寝・早起き・朝ご飯を食べる」などの生活習慣の改善などご家庭とともに歩みを進めていかねばなりません。タブレット端末が配備されましたが、使用はあくまでも学習目的です。いかに有効な活用ができるかを全職員で探っていきます。なお、次年度の課題として、現時点において下記のとおり児童数の減少にともない学級数が減ることとなり、今年度は最大でも25名の学級編制だったものが、来年度の1年生・4年生においては30人を超える学級編制をしなければなりません。これまで以上にきめ細かな指導の充実に努めていきたいと考えています。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	なかよし	ほほえみ	合計
児童数	33	41	49	35	50	46	2	4	260
学級数	1	2	2	1	2	2	1	1	12

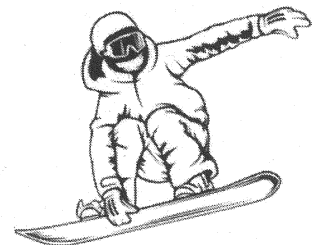
* 学級編制の標準は法律に定められています。35人以下の場合は1学級の編制になります。

冬季オリンピックからの学び

各競技で数々のドラマを起こした冬季オリンピックが閉幕しました。練習や遠征等に制限のあるなかで積み重ねてきた成果を出し切る姿に心を打たれました。この大会で見事に金メダルを獲得した選手の一人に平野歩夢選手がいます。平野さんは数か月前に開催された夏季オリンピック(東京)にも出場されていました。東京オリンピックが1年延期となったことで専門競技であるスノーボード競技まで期間が短くなり、夏のオリンピックに出場することが冬の競技に悪い影響を及ぼすのではないかと考えた人もたくさんいらっしゃったそうです。そんな声をどう受け止めたかはわかりませんが、金メダルをとった後には「夏のオリンピックに出場したことがよかった」と堂々としていたそうです。

彼の場合は、スケートボードとスノーボードという類似した競技ということもあってでしょうが、過去には自転車競技とスピードスケートといった組み合わせもありました。スケートの練習の一環で自転車に取り組んだとすれば、見事なチャレンジだったと感じます。何かをしようと目標に向かって進んでいるとき、ちょっと視点を変えてみることも大事なことです。新しい発見があったり、知らなかった自分の能力に気づいたり、自分なりのゴールは決めていても、そこへ向かう道はいくつもあります。回り道を有意義にとらえるかどうかです。

学習でも同じことが言えるかもしれません。「数学なんか勉強して将来何の役に立つの?」なんてことを口にする子が少なくありません。たしかに難しい数式や図形の学習をそのまま使うことはないかもしれませんが、しかし、ああでもない、こうでもない、と悩んで解決しようとする経験は、社会人になってたくさん味わうこととなります。そんな場面に出合ったときに数学で学んだ精神を生かして解決策を考え、乗り切るからこそが学習を生かしているといえます。



3月 学校行事予定

1日 (火)	6年生を送る会 家庭学習がんばり週間(2/28~3/6)	18日 (金)	卒業証書授与式
4日 (金)	立志祭	20日 (日)	家読の日
7日 (月)	学年費等口座振替(5年) 北小希望の会の日	21日 (月)	春分の日
9日 (水)	6年生のみ6校時授業	22日 (火)	字別児童会
17日 (木)	前日準備(下校時刻変更)	23日 (水)	給食終了
		24日 (木)	修了式

※感染症の状況により変更することがあります。ご了承ください。